

請願第17号

教育環境の整備をもとめる請願

提出年月日 令和7年(2025年)8月29日

請願者 宝塚市逆瀬川1丁目4-8 801

豊かな教育の創造をめざす宝塚市民会議

代表 佐々木 基 文

尼崎市竹谷町2丁目183番 リベル3階

連合兵庫東部地域協議会

議長 吉 田 仁 志

宝塚市伊子志3丁目14-57 1階北側

宝塚市教職員組合

執行委員長 谷 口 史 則

紹介議員 宝塚市議会議員 寺 本 早 苗

同 梶 川 みさお

同 田 中 こ う

同 大 島 淡紅子

請願の趣旨

児童生徒の学びや育ちを保障するために、学校現場の教職員は全力を尽くしています。しかし、特別な配慮を必要とする子どもたちの増加や不登校・いじめなど、学校のかかえる課題は多岐に渡っており、現場の教職員の努力だけでは解決できなくなっています。課題にあわせた専門のスタッフが一定数の配置をされていますが、様々な困難があり、支援を必要とする子どもたちの数には追いついていません。

特別支援学級の児童生徒は年々増加しており、教室の確保が難しい学校もあります。支援学級在籍の子どもたちの学習は特別支援学級教室だけでなく、通常学級の子どもたちと学ぶ時間も重要です。多くの人とのかかわりを通して、学習・経験をしていくことが将来必要とされる社会で生きていく力になっていくからです。しかし、増加傾向にある特別支援学級の児童生徒が通常学級で学習するとなると、現存の担任や介助員の数では十分に必要な支援をおこなうことができません。1人でも多くの子どもたちの成長を支援するために人的配置の拡充が必要です。

学校施設の老朽化に伴い、空調の効かない場所や雨漏りする場所などの施設面の問題もあります。プレハブを設置して教室数を増やしている学校もありますが、夏と冬は空調が効かず劣悪な学習環境になってしまう問題もあります。また、LGBTQへの理解や多様性を尊重する学習は浸透してきていますが、トイレ・着替えなどの問題があり、学校施設が当事者にとって安心して過ごすことができる場所とは言えません。さらに、GIGAスクール構想により、児童生徒にはタブレット端末が配布されていますが、Wi-Fi環境が整っていない教室があります。

子どもたちの健やかな成長には、行き届いた支援のための人員体制の抜本的な強化と安心して過ごすことができる施設・設備面の改善が急務であると考えます。子どもの権利条約にも掲げられている「子どもの最善の利益」「生命、生存及び発達に対する権利」の具現化のためにも、右記の項目についてお願いいたします。つきましては、請願の趣旨についてご理解をいただき、早期の改善をお願いいたします。

請願の項目

- 1 子どもたちの多様なニーズに対応するため、専門のスタッフを拡充してください。
 - (1) 特別支援学級児童生徒の生活支援・学習機会充実のために介助員を増員してください。
 - (2) 様々な背景がある子どもたちの支援の充実にむけて、スクールソーシャルワーカーの全校配置と配置時間を拡充してください。
 - (3) 子ども・家庭支援充実にむけて、スクールカウンセラーの配置時間を拡充してください。
 - (4) アシストルームを毎日運営できるように、アシストスタッフを常勤できるようにしてください。
- 2 子どもたちが安全で安心して学ぶことができる環境を整えてください。
 - (1) 老朽化による破損・危険箇所を早期に修繕してください。
 - ・雨漏り ・窓ガラスの割れ ・床タイル割れや剥がれ ・体育館の扉など
 - (2) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学校施設の改修をすすめてください。
 - ・急なスロープの勾配を緩やかにする改修 ・エレベーターのない棟への設置など

- (3) 様々な児童生徒が利用しやすいように、多目的トイレを拡充してください。
- (4) タブレットを用いた学習をすすめるために、校内のどこにいても使用できるようWi-Fi環境を整えてください。

以上